

内視鏡下頸椎椎間孔拡大術 患者さんパスシート(No.1)

氏名		診療科名	整形外科		
		入院予定期間	年	月	日
			年	月	日

月日	/				
経過	1 日目 入院日(手術前日)				
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> • 手術について理解しましょう。 • 麻酔について理解しましょう。 • 転倒・転落の危険性、予防方法について理解しましょう。 				
治療	• 特にありません。				
薬	<ul style="list-style-type: none"> • お薬を内服されている方は、入院時にお薬手帳と一緒に 8日分までお持ちください。 医師、薬剤師が確認し継続するかどうか判断します。 				
検査	<ul style="list-style-type: none"> • 13時から16時の間に麻酔科の診察があります。 				
処置	<ul style="list-style-type: none"> • 弾性ストッキングのサイズを測ります。 • 手術する足の切毛を行います。 				
活動	• 制限はありませんが、30分以上不在になる場合はお声かけ下さい。				
清潔	• シャワーを浴びて下さい。				
食事	<ul style="list-style-type: none"> • 21時から食べられません。 • 24時から水分を飲めません。 (手術が午後の場合は、6時まで水分がとれます)				
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> • 医師より手術の説明を行います。 • 麻酔科担当医から麻酔科外来で麻酔について説明があります。 • 看護師より手術前後の処置や必要な物品、腓骨神経麻痺の予防について説明をします。(別紙1参照) • 転倒・転落の危険性、予防について説明をします。 • 手術に使用するバスタオル、T字帯、各1枚に、お名前を記入してご準備下さい。 				



このパスシートは、診療計画の概要をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
 なお、病状に応じて変更することがありますが、その時はお知らせしますのでご了承下さい。

内視鏡下頸椎椎間孔拡大術 患者さんパスシート(No.2)

ID		診療科名		
氏名		入院予定期間	入院日	
生年月日			退院日	
月日	/			
経過	2日目 手術当日(手術前)			
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 手術の目的や、必要性を理解し、手術室に入る準備をしましょう。 			
治療	<ul style="list-style-type: none"> 手術開始が午後になる場合は、手術室に行く前に点滴を行います。 			
薬	<ul style="list-style-type: none"> 医師の指示で内服がある場合にはお伝えします。 			
検査	<ul style="list-style-type: none"> 特にありません。 			
処置	<ul style="list-style-type: none"> 深部静脈血栓症予防のため、ストッキングを履いて手術室に向かいます。 後頭部の除毛は必要時手術室で行います。 			
活動	<ul style="list-style-type: none"> 特に制限はありませんが、病室を離れる場合は看護師に声をかけ所在が分かるようにしてください。 			
食事	<ul style="list-style-type: none"> 食べたり飲んだりできません。 			
清潔	<ul style="list-style-type: none"> 起床後、洗面、歯磨き、髭剃りを行きましょう。 			
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> 手術室に向かう前に、浴衣に着替え、深部静脈血栓症予防のストッキングを履きます。 貴重品（指輪・時計・義歯・ネックレスなど）は金庫に入れ、金庫の鍵は看護師にお預けください。 			

このパスシートは、診療計画の概要をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。なお、病状に応じて変更することがありますが、その時はお知らせしますのでご了承下さい。

日本医科大学付属病院 2022年9月作成

内視鏡下頸椎椎間孔拡大術 患者さんパスシート(No.3)

ID		診療科名	
氏名		入院予定期間	入院日
生年月日			退院日

月日	/ /		
経過	2日目 手術当日(手術後)		
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 痛みや苦痛が強い場合は看護師へ伝えましょう。 深部静脈血栓症を予防するための足の運動を行いましょう。 安静度の範囲内で行動しましょう。 		
治療	<ul style="list-style-type: none"> 術後点滴と抗生剤の点滴を行います。 酸素マスクをつけます。 点滴から痛み止めを流します。 		
薬	<ul style="list-style-type: none"> 手術後、薬は基本的に飲みません。 		
検査	<ul style="list-style-type: none"> 手術室でレントゲン撮影があります。 		
処置	<ul style="list-style-type: none"> 深部静脈血栓症の予防のため、術後は弾性ストッキングを着用します。 		
観察	<ul style="list-style-type: none"> 血圧、脈拍、体温、呼吸状態、傷の状態(出血の有無、痛みの程度)について1時間ごとに観察させていただきます。 		
活動	<ul style="list-style-type: none"> 帰室後はベッド上で安静にし、体ごと横を向くことが可能です。必要時体の向きを変える介助を行います。 首を上下、左右に大きく動かす動作はしないようにしましょう。 		
食事	<ul style="list-style-type: none"> 食事はできません。 水分は酸素マスクが外れれば水は飲むことができます。 		
清潔	<ul style="list-style-type: none"> 顔を拭く、口の中をきれいにするお手伝いをします。 		
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> 手術後、点滴・首に入っている管が引っ張られたりしないように注意しましょう。 深部静脈血栓症予防のため足首の運動をしましょう。 手術後は痛みなどの症状に対し、お薬を使用します、遠慮なくお伝えください。 首を早く動かすことや、上下、左右に大きく動かすことは、再発のリスクが高いため、行わないようにしましょう。 		

このパスシートは、診療計画の概要をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
 なお、病状に応じて変更することがありますが、その時はお知らせしますのでご了承下さい。


内視鏡下頸椎椎間孔拡大術 入院患者さんパスシート(No.4)

ID		診療科名	
氏名		入院予定期間	入院日
生年月日			退院日
月日	/		/
経過	3日目（術後1日目）		4日目（術後2日目）
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> • 転倒予防について理解しましょう。 • 痛みが強い場合には我慢せずに看護師に伝えましょう。 • 深部静脈血栓症を予防するための足の運動を行いましょう。 		
治療	<ul style="list-style-type: none"> • 朝・夕方に抗生剤の点滴があり、夕分終了後点滴の針を抜きます。 • 歩行ができれば弾性ストッキングを脱ぎます。 		
薬	<ul style="list-style-type: none"> • 以前から内服していた薬は、医師が確認してからになります。 • 朝・夕食後、痛み止めの内服薬が処方されます。 • 痛みが強いときは追加の痛み止めがあるので、看護師にお知らせください。 		
検査	<ul style="list-style-type: none"> • 朝食前に採血をします。 • CT検査・レントゲン撮影があります。 		
処置	<ul style="list-style-type: none"> • 傷の状態に応じて、必要時処置をします。 		
観察	<ul style="list-style-type: none"> • 血圧、脈拍、体温、傷の状態(出血の有無、痛み)について観察していきます。 • 首に入っている管が曲がったり、抜けていないか観察します。 		
活動	<ul style="list-style-type: none"> • 歩行が安定するまで看護師の付き添いで歩きます。 • リハビリが始まり、歩行訓練、作業訓練を行います。 		
食事	<ul style="list-style-type: none"> • 朝食より食事が始まります。 		
清潔	<ul style="list-style-type: none"> • 体を拭くお手伝いをします。 		
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> • 痛み止めの内服方法について薬剤師から説明があります。 • 術後の転倒予防について説明します。 • 深部静脈血栓症予防のため足首の運動をしましょう。 • 首の管が抜けないよう、ベッド柵に引っかかったり衣服の着脱時に引っ張られないように気をつけましょう。 • 首を早く動かすことや、上下、左右に大きく動かす動作は、再発のリスクが高いため、行わないようにしましょう。 • リーフレットに沿って退院後の生活について説明します。 <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div>		

このパスシートは、診療計画の概要をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
 なお、病状に応じて変更することがありますが、その時はお知らせしますのでご了承下さい。

内視鏡下頸椎椎間孔拡大術 入院患者さんパスシート(No.5)


ID		診療科名	
氏名		入院予定期間	入院日
生年月日			退院日

月日	/ ~ /
経過	5日目（術後3日目） ~ 7日目（術後5日目）
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> • 痛みがある場合には我慢せずに看護師に伝えましょう。 • 転倒予防について理解しましょう。 • 可動域の制限を理解し活動しましょう。 • 退院後の生活について不安な事があれば、医師や看護師に聞きましょう。
治療	• 特にありません。
薬	• 痛みが強いときは追加の痛み止めがあるので、看護師にお知らせください。
検査	• 特にありません。
処置	<ul style="list-style-type: none"> • 傷の状態に応じて、必要時処置をします。 • 状況を見て首に入っている管を抜く可能性があります。
観察	<ul style="list-style-type: none"> • 傷の状態(出血の有無、痛みについて観察していきます。 • 首に入っている管が曲がったり、抜けていないか観察します。
活動	• 午前・午後に、廊下を1往復以上看護師とともに歩行訓練を行います。
食事	• 制限はありません。
清潔	• 体を拭くお手伝いをします。
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> • 首を早く動かすことや、上下、左右に大きく動かす動作は、再発のリスクが高いため、行わないようにしましょう。 • 術後、筋力低下によりバランスを崩しやすく転倒の危険性がありますので、歩行が安定するまで看護師と一緒に歩行しましょう。 • リーフレットに沿って退院後の生活について説明します。 • 日常生活の注意点、心配や不安なことがある場合は遠慮なくお尋ね下さい <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div>

このパスシートは、診療計画の概要をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
 なお、病状に応じて変更することがありますが、その時はお知らせしますのでご了承下さい。

内視鏡下頸椎椎間孔拡大術 入院患者さんパスシート(No.6)

ID		診療科名	
氏名		入院予定期間	入院日
生年月日			退院日

月日	/
経過	8日目（術後6日目 退院日）
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> • 痛みがある場合には我慢せずに看護師に伝えましょう。 • 転倒予防について理解しましょう。 • 退院後の生活について不安な事があれば、医師や看護師に聞きましょう。
治療	• 特にありません。
薬	• 痛みが強いときは追加の痛み止めがあるので、看護師にお知らせください。
検査	• 特にありません。
処置	• 傷の状態に応じて、必要時処置をします。
観察	• 首を上下、左右に大きく動かすことは医師の許可が出るまではしないようにしましょう。
活動	• 歩行する際は、転倒に気を付けましょう。
食事	• 制限はありません。
清潔	• 特にありません。
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> • 日常生活に関する注意点、心配や不安なことがある場合は遠慮なくお尋ねください。 • 退院後の外来診察日について説明します。 • 退院日に忘れ物がないよう荷物を整理しておきましょう。お帰りの際に一緒に確認致します。 • 保険などの書類は退院日に本館 1 階受付窓口に提出してください。 <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div>

このパスシートは、診療計画の概要をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
 なお、病状に応じて変更することがありますが、その時はお知らせしますのでご了承下さい。

内視鏡下頸椎椎間孔拡大術を受けられた方へ

【退院後の生活の注意点】

食事について

- ・制限はありません。
- ・規則正しい食生活を心がけて下さい。

清潔について

- ・退院の際、創部にフィルムが貼ってある場合は、次回外来時に診察後にはがします。そのままシャワーを浴びて下さい。シャワーの際に首を曲げなければならない時は、ゆっくりと曲げるようにして下さい。
- ・外来受診後、入浴の許可が出ます。フィルムが貼っていない場合は入浴は可能です。
- ・フィルムが貼っている場合はこすらずやさしく洗って下さい。

運動について

- ・脚の筋力が低下していることがあるので、転倒に気を付けて生活して下さい。
- ・術後は医師の指示のもと安静を保って下さい。例えば、首を早く動かすことや、上下、左右に大きく動かすことは医師の許可が出るまではしないようにしましょう。

その他

- ・医師の指示通り定期的に外来受診して下さい。

以下の場合を受診してください

- ・38度以上の発熱および、創部の腫れや痛みが続く場合。
- ・腰の部分にあたる、洋服や下着に血液や浸出液が付いている場合。

緊急時の対応について

- ・平日の8:00～16:30は整形外科外来、夜間休日は救急外来にて対応致します。夜間休日に受診する場合は、予め電話にてご連絡をお願い致します。